

その日のP地点での気象要素の変化を表したものである。これについて、あとの問いに答えなさい。

図1

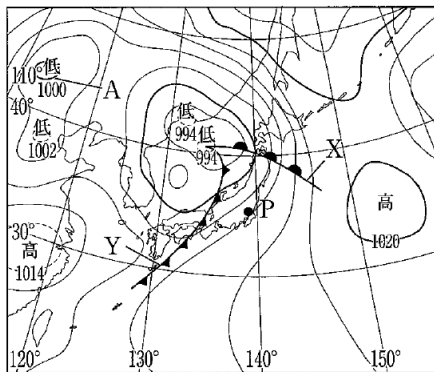
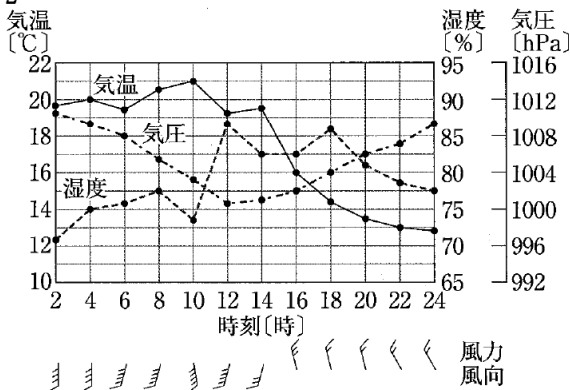


図2



- (1) 5月ごろは、いくつもの高気圧と低気圧が西から東へと移動していくため、同じ天気が長く続かない。このころにみられる高気圧を何というか。名称を答えなさい。
- (2) 図1のAの低気圧の中心付近における空気の流れはどのようなになっているか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 上昇気流があり、地表付近では空気が外側から中心に向かって時計回りにふきこんでいる。  
 イ 上昇気流があり、地表付近では空気が外側から中心に向かって反時計回りにふきこんでいる。  
 ウ 下降気流があり、地表付近では空気が中心から外側に向かって時計回りにふき出している。  
 エ 下降気流があり、地表付近では空気が中心から外側に向かって反時計回りにふき出している。
- (3) 図1のXの前線付近では、底面が暗く、雨や雪を降らせる厚い雲が見られる。この雲を何というか。次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 乱層雲      イ 積雲      ウ 巻層雲      エ 積乱雲
- (4) ①図1のYの前線を何というか。名称を答えなさい。また、②図1のYの前線ができるときの寒気と暖気の動きはどのようなになっているか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 暖気がゆるやかに寒気の上にはい上がっている。  
 イ 寒気がゆるやかに暖気の上にはい上がっている。  
 ウ 暖気が寒気の下にもぐり、寒気を急激に押し上げている。  
 エ 寒気が暖気の下にもぐり、暖気を急激に押し上げている。
- (5) 図2よりYの前線が通過したあとに大きく変化する①気象要素は何か。適当なものを次から2つ選び、記号で答えなさい。また、図1のP地点をYの前線が通過したのは、図2の②何時ごろか。あとから1つ選び、記号で答えなさい。

- [ ① ]    ア 気温      イ 気圧      ウ 湿度      エ 風向      オ 風力
- [ ② ]    ア 10時から12時      イ 12時から14時
- ウ 14時から16時      エ 16時から18時

- (3)(4) 温暖前線(X)は、暖気が寒気の上にはい上がるように進むところになる前線で、乱層雲などが発生しておだやかな雨がふる。寒冷前線(Y)は、寒気が暖気の下にもぐりこむように進むところになる前線で、積乱雲などが発生して激しい雨がふる。
- (5) 寒冷前線が通過した地点は寒気におおわれるので、気温が急に下がる。また、風向は南寄りから北寄りに変わる。

(1)	移動性高気圧		
(2)	イ	17	
(3)	ア	18	
(4)	①	寒冷前線	② エ
(5)	①	ア, エ	② ウ

完答。①は順不同。